

## 断熱改修に必要な製品数量の計算方法

「使用する製品1枚の体積」、「最低使用量に対する枚数」、「最低使用量に対するケース数」の順番で算出して必要な製品数量を計算します。

### 計算方法

**STEP1** 使用する製品1枚の体積 [m<sup>3</sup>/枚] = 製品厚さ[m] × 製品幅[m] × 製品長さ[m]

**STEP2** 最低使用量に対する枚数 [枚] = 最低使用量[m<sup>3</sup>] ÷ 製品1枚の体積[m<sup>3</sup>/枚]

**STEP3** 最低使用量に対するケース数 [ケース] = 最低使用量に対する枚数 [枚] ÷ 1ケースあたりの製品入数 [枚/ケース]

### 各部位ごとの例

#### 外壁の場合

一戸建て住宅の外壁に、断熱材区分Cの製品で、断熱材最低使用量6.0m<sup>3</sup>以上とする場合に  
必要な製品数量を計算してみます。

製品名はハウスロンZERO(HZS) / 製品型番:1PGMHZS 商品記号:HZS105C28L  
(密度16kg/m<sup>3</sup>、厚さ105mm、幅390mm、長さ2880mm、8枚入り)での計算例です。

**STEP1** 0.105[m] × 0.39[m] × 2.88[m] = 0.11 [m<sup>3</sup>/枚]

**STEP2** 6.0[m<sup>3</sup>] ÷ 0.11 [m<sup>3</sup>/枚] = 54.5 [枚] < 55 [枚]

**STEP3** 55 [枚] ÷ 8 [枚] = 6.9 [ケース] < 7 [ケース]



HZS105C28L(8枚入り)を7ケース使用すれば、断熱材最低使用量の6.0m<sup>3</sup>以上となります。

#### 天井の場合

一戸建て住宅の天井に、断熱材区分Cの製品で、断熱材最低使用量6.0m<sup>3</sup>以上とする場合に  
必要な製品数量を計算してみます。

製品名はハウスロンZERO(HZS) / 製品型番:1PGMHZS 商品記号:HZS155L13  
(密度16kg/m<sup>3</sup>、厚さ155mm、幅420mm、長さ1370mm、11枚入り)での計算例です。

**STEP1** 0.155[m] × 0.42[m] × 1.37[m] = 0.089 [m<sup>3</sup>/枚]

**STEP2** 6.0[m<sup>3</sup>] ÷ 0.089 [m<sup>3</sup>/枚] = 67.4 [枚] < 68 [枚]

**STEP3** 68 [枚] ÷ 11 [枚] = 6.2 [ケース] < 7 [ケース]



HZS155L13(11枚入り)を7ケース使用すれば、断熱材最低使用量の6.0m<sup>3</sup>以上となります。

#### 床の場合

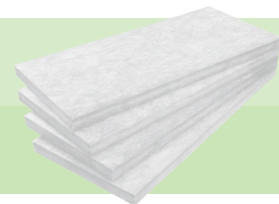
一戸建て住宅の床に、断熱材区分Cの製品で、断熱材最低使用量3.0m<sup>3</sup>以上とする場合に  
必要な製品数量を計算してみます。

製品名は露断プレミア(LXY系) / 製品型番:1PGMLXY 商品記号:LXY80Z18Q  
(密度32kg/m<sup>3</sup>、厚さ80mm、幅823mm、長さ1820mm、4枚入り)での計算例です。

**STEP1** 0.080[m] × 0.823[m] × 1.82[m] = 0.11 [m<sup>3</sup>/枚]

**STEP2** 3.0[m<sup>3</sup>] ÷ 0.11 [m<sup>3</sup>/枚] = 27.2 [枚] < 28 [枚]

**STEP3** 28 [枚] ÷ 4 [枚] = 7 [ケース]



LXY80Z18Q(4枚入り)を7ケース使用すれば、断熱材最低使用量の3.0m<sup>3</sup>以上となります。

計算方法がわかれば最低必要量は簡単！  
リフォーム後の暖冷房費のランニングコストも考えたら、  
補助金の交付と合わせてさらにお得になります！！

